

平成26年5月29日

平成26年夏のボーナス予想について ～夏のボーナスは2年連続で前年比増加～

佐賀銀行（頭取 陣内 芳博）は、佐賀県内における今年の夏のボーナス支給額について、下記のとおり推計いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 推計結果の特徴

- (1) 官公庁のボーナス総支給額は前年比1.91%増になると推計いたしました。
- (2) 民間のボーナス総支給額については、前年比2.18%増になると推計いたしました。
- (3) この結果、官民合計のボーナス総支給額については、前年比2.10%の増加になるものと推計いたしました。

支給総額

	平成26年夏		平成25年夏	
		前年比		前年比
官公庁	213億円	1.91%	209億円	1.42%
民間	516億円	2.18%	505億円	6.54%
合計	729億円	2.10%	714億円	4.08%

民間の事業所については、従業員数5人以上について推計しています。

2. 推計の根拠

(1) 官公庁について

今夏の期末・勤勉手当（ボーナス）の支給月数は、国家公務員および、佐賀県職員と佐賀県内市町公務員において1.90ヵ月分（昨年夏季比変わらず）と想定し算出いたしました。

地方公務員の支給対象職員数の減少等の要因による減少や国家公務員の給与減額措置が終了したことによる支給額の増額等を勘案して、夏季のボーナス総支給額を前年比4億円増の213億円と推計いたしました。

国家公務員の給与減額措置は「国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律」による。

(2) 民間について

平成26年4月の消費税率改定の影響などにより、足元で生産や消費の一部に減速傾向があるものの、県内の景気は緩やかな回復傾向にあり、所定内給与も前年を若干上回っていることが想定されます。また、企業収益の増加や一部業種で賃金の上昇傾向が見られることから、支給倍率は昨年比0.02ヵ月増の1.25ヵ月と想定し算出いたしました。

その結果、一人当たり支給額で3.5%、支給総額で17億円の増加が見込まれますが、常用労働者数が微増の中、パート比率が上昇し、支給対象人員が減少したことで、支給総額が6億円減少すると見込まれることから、夏季のボーナス総支給額を前年比11億円増の516億円と推計いたしました。

以上

本件に関するお問合せ先

総合企画部（松尾）

TEL 0952(25)4553

このまちで、あなたと